

## 第59回経営協議会議事録

1. 日 時 平成31年1月22日(火) 14時00分～15時50分
2. 場 所 ホテルクラウンパレス浜松 3階 松の間
3. 出席者 今野(議長)、伊藤、紀平、猿田、布村、正木、御室、門田、山本、渡邊、田中、金山の各委員  
陪 席 宮嶋副学長(教育改革担当)、浦野副学長(情報・広報担当)、蓑島副学長(研究担当)、西山監事、村本監事
4. 議事録の確認  
第58回経営協議会議事録(案)を原案どおり確認した。
5. 議 事
  - (1) 第3期中期計画の変更について  
渡邊理事から、第3期中期計画の変更について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
  - (2) 平成31年度予算編成方針について  
田中理事から、平成31年度予算編成方針について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
  - (3) 規則の改正等について
    - ①職員給与規程の改正  
総務課長から、職員給与規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
    - ②諸料金規程の改正  
総務課長から、諸料金規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
  - (4) 報告事項
    - ①平成31年度概算要求の内示について  
会計課長から、平成31年度概算要求の内示及び事業内容について報告があった。  
なお、文部科学省からの内示が遅れている事業については、次回報告する旨説明があった。
    - ②本学の施設整備の状況について  
施設課長から、本学の施設整備の状況について報告があった。
    - ③2019年度経営協議会日程(案)について  
総務課長から、2019年度経営協議会日程(案)について報告があった。
  - (5) その他
    - ①国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議の中間まとめについて  
企画評価課長から、国立大学の一法人複数大学制度等に関する調査検討会議の中間まとめについて報告があった。

次回の経営協議会について(平成31年3月27日開催予定)

## ※学外委員からの主な意見（○：学外委員の意見等、◆本学側の意見・説明等）

### 議事（2）平成 31 年度予算編成方針について

◆国際化業務体制等の強化に関連して、教育のグローバル化は、目標とその達成度を評価することにより分かりやすく説明していく必要がある、と前回の経営協議会でご指摘いただいた。海外協定校での臨床実習の件数を増やすことを当面の目標としており、効果が出てきている。また、協定校との学术交流で積極的に参加する人が増えてきている。今後はスマートライブラリを拠点として、情報の発信と受け入れも含めて成果を出していきたい。

◆来年度からインターナショナルセンターを設置し、海外における研修や留学生の教育だけでなく、さらに研究・教育・診療と幅広く産学連携を含めた国際連携、国際化を推進する。

○図書館の高度化への取り組みやインターナショナルセンターの設置ということで、これまでの留学枠の確立やTOEIC受験義務化など、体系的に体制を強化して取り組まれている。ぜひこのまま進めていただきたい。

○中国をはじめ東アジアの国々では日本の進んだ医療や教育をお金を払ってでも受けたいという要望が強くなってきていると伺っている。その一方で、留学生を受け入れるためのマネジメントや留学生たちの生活環境、受け入れ態勢と一緒に構築する必要があると聞いており、そのあたりの環境整備も必要であると思う。

◆国際交流会館の老朽化もあり、留学生には後に続く自分たちの後輩のためにも、メンテナンスをある程度負担いただこうと考えている。授業料を高くすることと奨学金は矛盾しない。

### 議事（3）規則の改正等について

○看護師特定行為研修の研修生の受け入れについて、目的はどこにあるのか確認させていただきたい。大学病院の職務分担ということを検討してなのか。特定行為を取り入れた大学院教育ということも始まっているが、看護学科の教育との関係を教えていただきたい。

◆看護学科との連携はまだ不十分であるが、極めて重要であり今後の課題である。

○医療安全について伺いたい。もし研修生に事故が起こった場合、その担保はどうするのか。医療事故調査制度にのせることはできるのか。

◆医療安全上は基本的には医師・看護師と同様になると思う。この特定行為にだけ適用できるような法的縛りはない。

### 議事（4）報告事項① 平成 31 年度概算要求の内示について

○外部評価について、一大学としてだけでなく国全体のことを意識して対応しないといけない。

### 議事（4）報告事項② 本学の施設整備の状況について

○非常に患者さんも増えていて稼働率も増えている。まだまだ余裕があるのか。

◆浜松医療センターという病床 600 床規模の教育関連施設がある。病床が不足しているため、疾患ごとに仕分けし関連施設と連携していく。また、病院職員を増やす必要がある。稼働率は、医療安全上適正なところで推移していけばよいと思う。